

施策評価シート

施策等名称	交通安全対策	体系番号	0501010304
		主管課	建設課

1 施策基本情報

現状と課題		交通安全施設「道路反射鏡(カーブミラー)・転落防止柵(ガードレール等)・路面標示・標識・視線誘導標等」は円滑な交通に不可欠な施設であり、道路管理者として、良好な状態を保つため、新設、更新を行っている。しかし、除雪による路面標示の摩耗や、融雪剤散布による道路反射鏡や標識の支柱の腐食が起こっており、早急な復元・建て替えが必要である。 交通事故を防止するため、交通安全教室等を継続して実施する必要がある。 駅前自転車駐輪場を適切に維持管理することで、駅前の秩序維持を図る必要がある。					
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)		ハード面の交通安全施設整備と、ソフト面での交通安全教室等による啓発活動によるもの、また、駅前の交通確保のため、駐輪場の管理の実施により、交通事故防止対策を継続して実施する。					
施策指標	指標名称		指標の説明(単位)		計画策定期		
	① 老朽化ミラーの更新数		年間の道路反射鏡設置・更新数(基)		2022年度目標値 2027年度目標値 1.00 20.00 20.00		
	② 交通安全教室の実施回数		年間の交通安全教室実施回数		64.00 66.00 66.00		
	③ 放置自転車の撤去回数		放置自転車の撤去回数		1.00 2.00 2.00		
施策の柱	名称	交通安全施設整備事業			主管課 建設課		
	詳細	道路交通網が高速化・広域化・過密化・連続化(24時間化)し、様々な要因により、交通事故が後を絶たない。 道路パトロール、住民要望などにより、必要性を判断して適時適切な交通安全施設(道路反射鏡・転落防止柵・路面標示・標識・視線誘導標等)の整備を実施することで、交通事故防止を図る。					
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定期	2022年度目標値 2027年度目標値		
	1	1 道路反射鏡設置・更新数	年間の道路反射鏡設置・更新数(基)	1.00	22.00 22.00		
	2	2 転落防止策柵等の設置・更新距離	年間の転落防止柵等設置・更新距離(m)	140.00	100.00 100.00		
	3	3 路面表示の設置・更新述べ距離	年間の路面表示の設置・更新述べ距離(m)	14495.40	14495.00 14495.40		
	基本政策間連携						
	名称	交通安全対策事業			主管課 建設課		
	詳細	交通安全運動、高齢者交通安全モデル地区事業、運転者、事業所、子ども、母親等への啓発活動、交通安全見守り隊、催事等の交通安全対策等により、ソフト面における交通安全対策を実施することで、交通事故防止を図る。					
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定期	2022年度目標値 2027年度目標値		
施策の体系	1	1 交通安全教室の実施回数	小学校33+10講座 保育園・幼稚園19×2講座 高齢者・PTA等7講座(回)	64.00	66.00 66.00		
	2				3 4		
	3				5 6		
	基本政策間連携						
	名称	茅野駅前自転車駐輪場の管理事業			主管課 建設課		
	詳細	茅野駅前にある東口駐輪場、西口駐輪場の2箇所の駐輪場の、朝夕の通勤時間帯における整理整頓、場内清掃、盗難防止、放置自転車の片付け等の管理を実施し、駐輪場の自転車が無造作・無秩序に置かれたり、ゴミの投げ捨てなども時折見られ、茅野市の玄関口としての駅前の秩序維持を図る。					
施策の柱	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定期	2022年度目標値 2027年度目標値		
	1	1 放置自転車の撤去回数	年間の撤去実施回数(回)	1.00	2.00 2.00		
	2				3 4		
	3				5 6		
	基本政策間連携						

施策等名称	交通安全対策	体系番号	0501010304
		主管課	建設課

2 指標等の推移と変動要因

施策等名称	交通安全対策	体系番号	0501010304
			主管課 建設課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年(前年度比)	2019年(前年度比)	2020年(前年度比)	2021年(前年度比)	2022年(前年度比)	2018年~2023年(総括)	
投資額 (2018年~2023年(総括)については 2023年の実績 を記載)	事業費(円)	26,802,718		27,586,813 1.03	25,368,422 0.92	27,980,000 1.10	27,563,808 0.99	26,257,489 0.95
	うち一財(円)	17,982,718		18,692,813 1.04	15,114,422 0.81	18,980,000 1.26	21,516,808 1.13	18,661,489 0.87
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合 に記載)			会計年度任用職員が正規職員になったための 人件費の皆減。				
進捗評価		順調	順調	おおむね順調	順調	おおむね順調	おおむね順調	
評 価 総 合 評 価	主 な 取 組 内 容 や 成 果	ハード面では、老朽化ミラーの更新を順調に実施している。また、区・自治会等からの要望に対する整備も優先度により実施している。ソフト面についても、関係機関と連携して教室を実施し、子どもの事故防止に努めている。	ハード面では、緊急性がある老朽化ミラーの更新を積極的に実施している。また、区・自治会等からの要望に対する整備も優先度により実施している。ソフト面についても、関係機関と連携して教室を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて多くの多くの教室が中止になった。	ハード面では、緊急性がある老朽化ミラーの更新を積極的に実施している。また、区・自治会等からの要望に対する整備も優先度により実施している。ソフト面についても、関係機関と連携して教室を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて多くの多くの教室が中止になった。	ハード面では、緊急性がある老朽化ミラーの更新を積極的に実施している。また、区・自治会等からの要望に対する整備も優先度により実施している。ソフト面についても、関係機関と連携して教室を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて多くの多くの教室が中止になった。	(R4・総括評価共通) ハード面では、緊急性がある老朽化ミラーの更新を積極的に実施している。また、区・自治会等からの要望に対する整備も優先度により実施している。ソフト面についても、関係機関と連携して教室を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて多くの多くの教室が中止になった。	【R5・総括評価共通】 ハード面では、倒壊の恐れのあるミラーの更新や自治会等からの要望に対し効果的に実施を行っている。ソフト面については、新型コロナの影響により数年は実施ができないない状態であったが、令和5年からは通常に行えており関係機関との連携も図れている。	
	課 題	施設整備に多くの費用が発生する。特に除雪で削れる道路区画線の更新は後回しになりやすい。また、歩行者を守るポールの設置について要望が多いが、予算上、設置が限定してしまう。	昨年度と同様に施設整備に多くの費用が発生する。特に除雪で削れる道路区画線の更新は優先度が低くなりやすい。また、歩行者を守るポールの設置について要望が多いが、予算上、設置が限定してしまう。	昨年度と同様に施設整備に多くの費用が発生する。特に除雪で削れる道路区画線の更新は優先度が低くなりやすい。また、歩行者を守るポールの設置について要望が多いが、予算上、設置が限定してしまう。	施設整備に多くの費用が発生する。特に除雪で削れる道路区画線の更新は優先度が低くなりやすい。また、歩行者を守るポールの設置について要望が多いが、予算上、設置が限定してしまう。	(R4・総括評価共通) 施設整備に多くの費用が発生する。特に除雪で削れる道路区画線の更新は優先度が低くなりやすい。また、歩行者を守るポールの設置について要望が多いが、設置が限定してしまう。	【R5・総括評価共通】 限られた予算の中で交通安全施設の保全設置を行っているため、優先順位を低くしている道路区画線の劣化が見られ、また歩行者保護のポールについても限定期的な対応となっている。	
改革 ・ 改 善	改革・改善内容		各交通安全施設の設置に係る優先順位付けをしながら、更新が停滞している主要路線の路面標示を実施する。	各交通安全施設の設置に係る優先順位付けをしながら、更新が停滞している主要路線の路面標示を今後も積極的に実施する。	各交通安全施設の設置に係る優先順位付けをしながら、更新が停滞している主要路線の路面標示を今後も積極的に実施する。	各交通安全施設の設置に係る優先順位付けをしながら、更新が停滞している主要路線の路面標示を今後も積極的に実施する。	各交通安全施設の設置に係る優先順位付けをしながら、更新が停滞している主要路線の路面標示を今後も積極的に実施する。	
	重点化する 施策の柱 重点 事務事業	1	1	1	1	1	1	
	理由	交通安全施設の整備が直接的に交通事故防止につながるため。	交通安全施設の整備が直接的に交通事故防止につながるため。	交通安全施設の整備が直接的に交通事故防止につながるため。	交通安全施設の整備が直接的に交通事故防止につながるため。	交通安全施設の整備が直接的に交通事故防止につながるため。	交通安全施設の整備が直接的に交通事故防止につながるため。	

作成担当者	今井 明彦	今井 明彦	湯田坂 浩一	湯田坂 浩一	湯田坂 浩一	清水 信之
最終評価責任者	篠原 尚一	篠原 尚一	篠原 尚一	岩崎 研二	岩崎 研二	黒澤 俊彦
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月14日	2021年5月28日	2022年5月30日	2023年10月19日	2024年7月12日